

50
year anniversary



豊島区テニス連盟

目次

豊島区テニス連盟会長（谷嶋二三男）	1
豊島区テニス連盟理事長（鈴木孝平）	2
秩父市硬式テニス連盟理事長（湯本哲夫）	3
元豊島区テニス連盟副会長（石はまこ）	5
元豊島区テニス連盟トーナメント委員長（田中達也）	6
個人公開指導員制度	8
個人公開指導員（本橋行雄・吉岡幹夫）	9
個人公開指導員（菊池恵子・小林ルミ子）	10
個人公開指導員（川上良絵・川端佳子）	11
個人公開指導員（練木道夫）	12
個人公開指導員（小池方江）	13
豊島区テニス連盟加盟団体の推移	14
加盟団体紹介	
グリーン	15
グリーンガーデン	16
駒桜	17
スマッシュ	19
大正セントラル目白	20
早朝練習会	21
チームスーさん	23
ひまわり	24
郵政クラブ	25
ルネサンス早稲田	26
天米	27
レインボー	29
Tボーイズ	30
ショートスリーパーズ	31
BTC	32
アベンジャーズ	33
ブレイクボックス	34
WATTA	35
豊島区テニス連盟沿革	36
豊島区民大会シングルス優勝者	37
豊島区体育協会生涯スポーツ功労者表賞	38
大会参加者数推移	39
豊島区テニス連盟会則	40
編集後記	44

豊島区テニス連盟 50 周年記念によせて

豊島区テニス連盟 会長

谷嶋 二三男



創立 50 周年記念誌作成にあたり、過去の関係する記念誌等を幾度となく読み返し、テニスコート造り、テニスの練習場所、豊島区、体協やテニス連盟、秩父市との関わり、活動内容、歴代優勝者等、改めて知ることも多く、立場上とは言え、テニス連盟に 2、3 年しか関わって来ていない者には、荷が重い仕事ではあると感じる。

まず、今回、運良くテニス連盟創立者に直接お話を聞く貴重な機会があり、創立時をはじめ豊島区や体協の方の理解により連盟が長く歩んで来ていることを再認識し、改めて深甚なる感謝を申し上げます。

思うに、まだ 50 周年を迎えたばかりであるが、テニス連盟を創立し、また支えてきた皆様に、満腔の謝意を感じえません。第 3 者的立場からすれば容易な変遷だったかも知れません。

この 50 年いや 10 年間に於いてさえも、離合集散した方を含めたら千差万別の人生観を持っていて当然の、しかも一騎当千の雲霞団体であったと感じ得ません。

同じ団体の中でも一人一人が異なる考えを持っているに違いない。それがなぜ 50 年、最近の 10 年でさえ、あたかも 1 本の太い糸でつながれた様に、これだけ多くの方が同じ道の上を歩み続けようとしているのか？ まさか前世の行いにより、赤い糸で結ばれていた訳ではあるまい。

恩師の教えの一つに、自分の物差しで人を計ってはいけないという言葉を思い出す。多くの方と同じ道を歩むのであれば、頭の片隅において置く教えだと考えている。

テニスを与えてくれた、これからも与えてくれよう、淡白な満足感か、結果的に得られる健康か、人それぞれ得るものがあり、人生にプラスにしていける、そんな愛着のあるテニスに心を注ぐ人のためにも、微力ながら貢献していくべき年齢なのかと感慨にふける。

今後も、豊島区や体育協会のご支援のもと、テニス連盟会員等の皆様の協力を得て、テニス連盟のさらなる発展を期待して筆を置くことにする。

50周年記念誌発刊にあたり

豊島区テニス連盟 理事長 鈴木孝平

体育協会加盟 40周年記念誌を 2015年に発刊してから9年が経過しました。

前回の発刊から、この9年間の主だった事柄を記述します。

2015年・体育協会加盟 40周年誌を発刊し、祝賀会を開催した（8月）。

2016年・連盟HPへ大会当日に開催有無をツイートすることにした。

- ・秩父市とのスポーツ交流総合開会式の担当種目となる。

2017年・連盟会則第5条・6条・8条を改正した。

- ・総合体育場テニスコートが改修され、安心してテニスを楽しむ事が出来るようになった。（8月）

2018年・体育協会 70周年記念式典参加（1月）

- ・鈴木孝平理事長就任

- ・会費を値上げした。

 - 団体加盟費：新規 4000 円、継続 2000 円 登録費：1000 円/人

 - 試合参加費：登録者 1000 円、非登録者 2000 円)

- ・HPへのバナー広告掲載を開始した（大正セントラルテニスクラブ目白）。

2019年・大会運営を全加入団体が分担して担当することとした。

2000年・コロナ感染拡大により文書による総会①を実施した。

- ・3月から6月までの大会（春季大会等5大会）は非開催とした。

 - なおクラブ対抗戦と春季大会は申込受付後に非開催が決定したので、参加費の返金に多大な労力を費やすことになった。

- ・以後、非開催となるリスクを考慮し、ドロー発表後の参加費振込とした。

- ・「感染症の確認書」提出により秋季大会と種目別選手権の2大会は開催した。

- ・秩父市対抗親善テニス大会と都民体育大会も非開催となった。

2021年・コロナ感染拡大により 文書による総会②を実施した。

- ・宮久保渡会長ご逝去（8月）

2022年・谷嶋二三男会長就任

- ・HPへのバナー広告掲載が2件となった。

 - （大正セントラルに、ウィンザーラケットショップが追加された）

2023年・「感染症の確認書」の提出を取りやめた。

- ・各団体の練習日割当が大会予備日としたため、大幅な増加となった。

- ・秩父市対抗親善テニス大会が4年ぶりに復活した（4月）。

- ・大会申込を従前の「大会参加費振込後」とした。

2024年・テニス連盟創立 50周年記念誌を発刊する。

秩父市硬式テニス連盟

理事長 湯本哲夫

豊島区テニス連盟創立 50 周年記念誌刊行、心よりお喜び申し上げます。

一口に 50 年と言えば、生まれた赤ちゃんは 50 歳を迎え、20 歳の青年は 70 歳になっています。その 20 歳の青年は私です。私が中学 2 年生の時、昭和 44 年西武秩父線が開通し、特急レッドアロー号に乗車すれば 1 時間 20 分程で池袋駅に行くことができるようになりました。それまでは、秩父鉄道を使い熊谷駅経由で上野駅、あるいは寄居駅から東武東上線で池袋駅に行くルートで東京へ行ったものです。西武鉄道の開通により、豊島区が大変身近になりました。

その後、学生時代は地下鉄丸ノ内線を使い通学していました。そしてテニスに出会いました。コナーズ・ボルグ・マッケンローの時代で、レギュラーサイズのラケットがとても懐かしい思い出です。

それから数年後、秩父硬式テニス連盟に関わることになりました。秩父硬式テニス連盟は昭和 50 年に発足しており、当時秩父市は軟式テニスが隆盛で硬式テニス愛好者は大変肩身の狭い思いもしました。しかし、その後のテニスブームにより一時は 600 名の会員を有するまでになりましたが、現在は 200 名程で活動しています。

豊島区との交流のいきさつは、昭和 59 年の早朝練習会（後藤辰男会長）の秩父合宿でした。テニスコートが手違いで確保できなかったため、急遽私に連絡が入り、市営羊山テニスコートを使えるよう手配したことを記憶しています。そして、その翌年から交流が始まり、現在に至っています。

その間、平成 28 年 5 月 29 日姉妹都市交流相互開会式が行なわれ、順調に交流が続いていましたが、令和 2 年からコロナの大きな影響受け、一時中断されました。令和 5 年 4 月 9 日谷嶋二三男会長のもと、再び豊島区の皆様とのテニス交流を楽しむことができるようになりました。人生 100 年時代、生涯スポーツとしてテニス交流が末永く続くことを願っています。

テニスを通しての出会いに感謝するとともに、豊島区テニス連盟のますますのご発展と皆様のご健勝を心より祈念いたします。



2016年 秩父市とのスポーツ交流合同開会式を担当



2023年 4年ぶりに開催された、豊島区・秩父市対抗親善テニス大会

元豊島区テニス連盟副会長

石 はま子

豊島区テニス連盟創立 50 周年おめでとうございます。

豊島区体育協会加盟 40 周年の時に役員の方々と記念誌を作たり、皆様に集まって頂いて祝賀会を開いたりしました。

あれから 10 年近くが過ぎましたが、思えば自然災害も多くコロナにも長く苦しめられました。

テニスさえも思うようにできず大変な 10 年間でした。

今はまた、楽しくテニスができる事は本当に嬉しい事です。

役員をしていた頃の思い出と言えば、何と言っても年度初めのコート割です。役員でもあまり係わる事がないところです。

始めのころは軟式テニスとぶつかり故宮久保会長と夜遅くまで奮闘したことが、懐かしく思い出されます。宮久保さんは知恵を絞りお酒の力を借りたかもしれませんが軟式の方とも打ち解けてスムーズにコート決めをする事が出来る様になりました。彼の人柄もあり軟式の方とは良い関係になりました。

現在では硬式テニスの人数はすごく増えて、コート割の基準が今までのままで、みんなに平等なのかは疑問ですが！

これからも区のテニスコートを皆で楽しく使っていきたいですね。

早朝練習会にも所属していました。朝の時間が取れなくなり止めてしまいましたが一日がテニスから始まるのはとても気持ちのいいものでした。一汗流して仕事に向かう人もいますし、年齢も様々な方が一緒にテニスをしてひと時を過ごすのはとても良い環境でした。

お隣の文京区では周りの住民からの苦情で早朝コートが使えなくなり早朝の団体は解散となってしまった様です。参加していた方は残念がっていました。

また朝の時間に余裕ができましたら、早朝練習会に参加してテニスから始まる一日を過ごしたいと思っています。



元トーナメント委員長

田中 達也

豊島区テニス連盟創立 50 周年記念、おめでとうございます。

この度は、谷嶋会長のご依頼により豊島区テニス連盟創立 50 周年記念誌に寄稿する事となりました。

現在、生まれ故郷の宮城県亶理郡亶理町（近年、秋になるとテレビなどで紹介される「はらこ飯」の発祥の地）に戻って約 5 年半が過ぎようとしています。

豊島区テニス連盟との深い関わりとなりますと 25 年くらい前からになります。

当時は、平井会長そして宮久保会長のもと、役員としてそして選手 (TOPSPIN) として、忙しく、でも楽しく皆様とともに過ごしてきました。

役員としては、トーナメント委員として大会のランキングポイント制を採用し、ドローにおけるシード選手の明確化を行いました。そして大会においては、タイムテーブルの作成等を行いスムーズな試合進行が出来るように、そして楽しく試合が出来るようにと努めてきました。

また選手としては、シングルス、ダブルス、ミックスダブルス、団体戦と出場して、何度か優勝する事が出来ました。特にダブルスでは、息子の翔と高校から大学にかけて親子でペアを組むようになり、何連覇か出来たのが思い出になります。

さらに、豊島区代表として都大会に出場させて頂いた事も良い思い出です。

こちらに戻り 2019 年 60 歳になった時に全日本ベテランテニス選手権大会出場を目指して、試合と観光を兼ねて各地を回りながら楽しむ予定でしたが、あのコロナウィルスのせいで全てが無くなってしまいました。

また、60 歳前後から色々な怪我そして病気が出てきました。

肘痛に始まり膝痛、足の肉離れ、五十肩、ぎっくり腰、ぎっくり腰に似た首の痛み、就寝中の足の筋肉の収縮(現在も)、そして前立腺肥大、狭隅角緑内障(手術済み)と毎年何かが襲ってきます。

治るのに時間が掛かった事もありましたが少しずつ良くなり、幸いにして全くテニスが出来なくなるような事にはなりませんでした。

皆様もテニスをまだまだ継続されると思いますが、身体のケアをよく行い、出来るだけ怪我そして病気に罹らないようにしながら楽しんでください。

不幸にも怪我をしても病気に罹ったとしても、治す気持ちとそれらに負けない気持ちを持つ事が大事だと思います。もちろんテニスをお休みして、治療に専念する事も忘れないでください。

今年で 65 歳になりますが、近くのテニスサークルに入ったり、テニス練習会のサークルを自分で立ち上げたりして、週 3 回から 5 回程、いまだにテニスを楽しんでいます。最近、コロナウィルスも落ち着いてきて、遠征も出来るようになってきましたので、豊島区のテニスコートの方にもお邪魔したいと思っております。

皆様とお会いして一緒にテニスが出来ると楽しみにしながら、これからもテニスが続けてまいります。最後に豊島区テニス連盟がこの先 60 年 70 年と続き、益々ご発展する事を願っております。



達也・翔名取市テニス協会ダブルス優勝 2022 年 5 月

個人公開制度

- 1) 昭和 42 年(1967 年)7 月に条例は施行されている (56 年前)。
- 2) 昭和 61 年 4 月に総合体育場主催で個人公開開始。テニス連盟も指導員派遣に協力。
- 3) 現在 (2023 年) の状態は、個人公開開始当初から変わっていない (37 年間)。
- 4) 平成 22 年 4 月の豊島区体育施設個人公開実施要綱には、「公開日、公開時間については学習・スポーツ課長と協議の上、支障のない範囲内で指定管理者が定めるものとする」とあります。
テニス連盟は、毎年体育協会から依頼され、契約をむすび、指導員を派遣してきております。
制度の開始から現在まで継続してきている指導員もおります。

《2023 年の時点での指導員》

早朝練習会から、菊池恵子、吉岡幹夫、山本明、川端佳子、練木道夫さん。

レインボーから、川上良絵、小池方江さん。

ひまわりから、小林ルミコさん。

駒桜から、本橋行雄さん。

天米から、田辺弘之さんとベテランの方がそろっております。

《個人公開時の順番待ちのラケット置き場》



2 本

3 本

4 本

4 本

4 本

4 本

* 個人公開時、コートに入れたい方は、ラケットを並べて順番待ちをします。

写真は 21 人 (21 本のラケット) が待機している状態です。

個人公開コート 3 面に 12 人いますから、参加者は合計 33 人となります。

** コートがあいたら一番右側のグループの方々 (4 人) がコートに入ります。

マナーを大切に

個人公開指導員 本橋 行雄

豊島区テニス連盟 50 周年おめでとうございます。

私は総合体育場個人公開日第一火曜日午後の部、第五火曜日ナイターを担当しています。指導員になり 3 年弱ですので、なかなか上手く運営、進行ができませんが、参加している方に協力してもらいなんとかやっています。

私は豊島区テニス連盟に登録している駒桜というサークルに参加しています。このサークルは駒込駅の近くにある豊島区駒込小学校の校庭を利用させて頂き、毎週土曜、日曜にテニスをしています。このサークルの中で試合好きがチームを作り、駒桜というチーム名で豊島区テニス連盟に登録しています。

指導員として私が心掛けていることは、技術的なことより、ルールとマナーです。特にマナーに関しましては、参加されている方々には、楽しく、安全にテニスをするのに必要だと思いますので、特に協力をお願いしております。

個人公開日というこのシステムはなかなか無いと思いますので、沢山の方々に参加していただきたいと思います。初めての方でも、私たち指導員にお声を掛けていただければ、楽しくテニスができるようご案内いたしますので、ぜひご利用ください。

テニス万歳！！

個人公開指導員 吉岡 幹夫

豊島区テニス連盟創立 50 周年おめでとうございます。

連盟の早朝練習会、グループのコート貸出、そして個人の方にもテニスを楽しめるようにと個人公開制度が実施されました。個人公開制度の発足当時から、指導員として長年かかわれた事に感懐深いものがあります。

この間、多くの方と知り合い、テニスの面白さ、ゲームの喜び、仲間作り等、少しでも手助けになれたことがあれば、とてもうれしく思います。

傘寿を迎え、これからも体の許す限り皆さんとテニスを愛し、楽しみそして健康であります様にお手伝いしたいと思います。テニス万歳！！

自ら全力を尽くす

テニス連盟副会長 個人公開指導員 菊池 恵子

テニスを始めてから 55 年、あつと言う間でした。おかげ様で元気で怪我もせず、長い間テニスを続けて来られたかと思っております。

連盟副会長として、個人公開指導員として大切にしていることは、常に大会参加選手や個人公開参加者の立場で物事を考えて行動し、自ら全力を尽くすよう心掛けることです。

連盟副会長の他にも、早朝練習会の副会長や競技・会場担当も長く兼務してきており、連盟の大会の申込、女子団体戦やミックス団体戦の世話役等にも係わってきていました。団体戦のチームづくりは意外と大変で、毎回調整に気苦労ばかりしていましたが、皆様のご協力により何とかまとめられ、感謝しております。

指導員歴はまだ浅く、わからないこともあります。参加者の皆様が楽しくテニスができるよう、願っております。

個人公開の楽しみ

テニス連盟顧問 個人公開指導員 小林 ルミ子

指導員をさせていただき今年で 15 年の月日が経ちました。

個人公開のナイターを、月に一度 指導員として担当しております。

皆さんそれぞれが都合の良い日に来て、順番にコートに入っていきますが、初めて会った方もいつの間にか 前から知っていたかのように楽しくゲームをしている姿に嬉しく思います。

最近では 隣のコートで 5 年ぐらい前にジュニアレッスンを受けていた子供たちが、個人公開を利用するようになりました。

中学、高校と成長し、技術・精神面もたくましくなり懐かしく思います。

テニスをしたくて、仕事を早く終わらせましたと、息をハアハアさせながら走ってくる方もいます。

少しでも、お役に立てればという思いで指導員を引き受けました。

毎月、皆さんと会えるのがとても楽しみになりました。

あつという間に指導員歴 10 年超え

テニス連盟女子監督 個人公開指導員 川上 良絵

豊島区テニス連盟創立 50 周年おめでとうございます。

第 4 火曜日の午前中を担当する川上良絵と申します。

毎週火曜日に、池袋で午前中、午後、ナイター（ナイターは春～秋）と自分の都合に合わせてテニスができる環境は、他にはないと思います。中にはテニス三昧と、一日中テニスコートにいらっしゃる利用者さんも。個人で参加するので順番で人数が足りなくなる場合も多いのですが、足りないことをお伝えすると「ジャンケンで〇人ね」と快く入っていただけます。指導員としてはとてもありがたく、みなさんに感謝しています。利用者さんには、夏は水分補給、熱中症注意、冬は筋肉等の怪我などに気をつけていただけるようにお伝えしています。

いただくパワー

個人公開指導員 川端 佳子

私がテニス個人公開に参加するようになったのは 10 年くらい前だったと思います。指導員となってまだ 2 年です。

「テニスを楽しむ」は、私の生活の支えになっています。

この 10 年の間に父、義父が亡くなり、愛犬 2 匹が亡くなり、寂しい時期でも「コート」に行くのと周りの方々から「元気、パワー」を貰っていました。「プレーの合間のおしゃべり」も私を支えてくれていると感謝しています。

指導員になって感じることは、体調不良などで個人公開に参加できなかった方々が久しぶりに参加され、プレーされている姿はとても微笑ましいです。また、初めて来られた方々が「知らない人とのプレーは緊張する」と言いながらも楽しくプレーしている姿、翌週もまた参加されている姿を見ると嬉しく思います。

10 代から 80 代の方々が一緒にテニスをしています。

皆さまの生活の支え「元気の源」となりますよう、今後も「新たなる出会を楽しみ」に、皆さまと「楽しいテニス」が出来ますようお願いしております。

テニスを始めた頃

個人公開指導員 練木 道夫

もう 45 年以上前ですが、就職した会社（茨城県守谷市）が、旧中学校の跡地で、グラウンドには野球場やクレイテニスコート 2 面が残っており、周辺は田畑ばかりで特に遊び場もなく、予約もせず好きな時に出来たのがテニスを始めたきっかけでした。

会社にはバトミントン部やサッカー部、野球部などあり、いろいろ顔を出しましたが、昼休みや休日はもっぱら少人数でも直ぐできるテニスでした。飛んでくるボールを狙って打ち返そうとしてもあらぬ方向にすっ飛んで行ってしまい、テニスはバトミントンより凄く難しい！と感じました。雨降りの翌日は天気は良くてもできないし、毎回の練習終わりには重いローラーを引いてブラシ掛けや白線の掃き出しなど面倒だし、当時の木製ラケットは木型に固定しないと曲がってしまい、ストローク練習でアウトすれば“ゴメンナサイと謝らないといけないし……以前はバスケット部だったので、大声での応援は OK。コートマナーなどうるさく言われず、テニスにはちょっと違和感がありました。それでもハマってしまったのは、思い通り正確に狙ったところに飛ばない！！というストレスが逆に原動力だったのかもしれない。

当時はコナーズ、マッケンロー、ボルグなどが活躍し、夜中の TV 中継で驚嘆していましたが、最近是有料 TV になってしまい残念！ ウインブルドンで伊達公子選手がグラフに勝つ！と思ったら日没順延になって悔しかったなあ。テニス月刊誌などからフォームや戦略を真似て練習したものの、テニス仲間に部活経験者は誰もおらず、またスクール等できちんと習うこともせず完全に自己流なので何年経っても上達しません。イマドキの若い人の力強いスピンストロークや華麗なボレーショットは、自分も打ちたいとは思いますが、やはり上手になるにはちゃんとコーチにしっかり習うのが大事ですよ。子供が育ち離れるまで家族優先！テニスも暫く遠ざかっていましたが、都内に転勤してから早朝テニス練習会に入会させていただき、区の大会では励みになるので何とか一つでも勝ち進みたいと思います。が、最近はあちこち怪我也多く脚力の衰えも非常に感じます。10 年毎に半分です！ “健康に最も良い運動はテニス！” と聞いてからは、上達より健康を目的に変更しようと思っているものの、なかなか大人のテニスをするのは難しく力み過ぎてポカミスで終わる方が多いです。

亡くなられた宮久保さんの後継ぎとして指導員に指名され約 1 年が経過しました。これからも健康と体力の維持をして、少しでもテニスが上達できるように頑張りたいです。

テニス愛好家

個人公開指導員 小池 方江

テニス愛好家が集まる場所

テニスのシーズンっていつなんだろ？

そう言えば、プロの世界や学校の部活動では、シーズンのオンオフはあるが、ほとんどの庶民派テニス愛好家は、一年中活動し、シーズンオフはない。

総合体育場の個人公開に集まる面々は、そんなテニス愛好家の集まりだ。

天候による暑さ寒さは関係ない。

強風が吹いても、風の対処法の学びになるとテニスコートに集まってくる。

老若男女問わず、テニスの技量も様々だが、テニス好きなのは共通項。

そして、テニスしている時は、一様に感情表現が豊かになる傾向がある。

もちろん、感情表現もスポーツマナーの範囲内でのことではある。相手のナイスショットに感嘆したり、思った通りにプレーができた時や自分のショットになんとも言えない心地良さを感じたり、コミカルなプレーやとんでもないミスに、落ち込んだり、逆にあきれて笑ったりと、心が動く感覚は、テニスの楽しみでもある。

豊島区の個人公開日には、様々な面々が集まってくるが、「今日は火曜日、天気も良いし、用事がないからテニスに行こう！」そんな感じでテニスコートにフラッと現れる方もいれば、毎週決まった時間に必ず来る方もいる。

コートの予約をしてなくても手軽にテニスができる、テニス仲間を誘わなくてもダブルスゲームができるのが、個人公開の最大の強み。

また、公営テニスコートを貸し出ししている区は多いが、豊島区のように個人に公開している区は多くはない。

そして、参加者の多くが、友人等を誘って来るようになるため、様々な人生経験を持った個性豊かなテニス愛好家達が集まってくるので、コート待ちの合間の雑談も楽しい時間となる。何処に住んでいるのか、何処の学校、何の仕事をしているのか、年齢も性別も関係ない。

ゲームで勝っても負けてもテニスを楽しむ。

それがテニス愛好家なり。

豊島区テニス連盟加盟団体の推移													
	設立年	代表者 2023年	2000年代										
			23年	22年	21年	20年	19年	18年	17年	16年	15年	14年	
1	グリーン	2013	小村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	グリーンガーデン	2005頃	小暮	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	駒桜	2010	本橋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	スマッシュ	1984頃	八谷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	早朝練習会	1969	谷嶋	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	大正セントラル目白	1985	鈴木	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	チームスーサン	2018頃	野田	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	ひまわり	1993	進	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	郵政クラブ	1993	小林	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	ルネサンス早稲田	1991頃	松村	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	レインボー	1988頃	此下	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	天米	1994頃	田辺	○	○	○	○	○	○	○			
13	Tボーイズ	2018	春田	○	○	○	○	○	○				
14	ショートスリーパーズ	2020	山口	○	○	○	○						
15	B T C	2022	近藤	○	○								
16	アベンジャーズ	2022	中尾	○									
17	ブレイクボックス	2022	山元	○									
18	W A T T	2022	渡邊	○									
19	K C R C				○	○	○	○	○	○	○	○	○
20	S F K C テニスクラブ				○	○	○	○	○	○	○	○	
21	桜台55チーム				○	○							
22	アスセーナ					○	○	○	○	○			
23	R2018						○	○	○				
24	FUN FUN						○	○					
25	B B C							○	○	○	○	○	○
26	セゾン情報システム								○	○			
27	アリックス								○				
28	フリーマン									○	○	○	○
29	チームファイン									○	○	○	○
30	T O P S P I N										○	○	○
31	ぱぱーず										○	○	○
32	チームとぼりん										○		
33	オリジン電気(株)											○	○
34	大正製薬グリーンクラブ											○	○
35	P E E R												○
36	Tipi												○
	団体数			18	18	18	19	19	20	19	20	20	21
	登録人数			482	476	420	429	419	418	443	432	410	395

グリーン

小村 緑

私が豊島区テニス連盟に加入して10年以上になりました。

トーナメント委員としてドロー会議に出席し始めた当初は、全く慣れることができず、戸惑いの連続でした。しかし、暖かく楽しい委員の皆様の輪に入れていただき、連盟の一員としての自覚も生まれ、徐々に試合運営の一旦も担ってこられるようになってきたと思います。また、会計という重積ある役職をいただいたことで、不安を抱えながら運営に加わることとなりましたが、会計の先任者にたくさん助けて頂き、何とかこなせるようになり、だんだんやりがいを感じながら参加することができるようになりました。そんな中、コロナというパンデミックが起り、コート使用も、試合も、会議も行えないという大変な期間が始まりました。本当に辛いと思うことが何度もありましたが、役員の方や連盟の方々と共に声を掛け合いながら何とか乗り越えることができました。そして昨年度、晴れて任期を満了し、会計という職を離れることとなりました。少し寂しくもありますが、この経験を生かして、今からでもまた何か新たなチャレンジをしたいなと思っております！本当にありがとうございました。

さて、私が仲間を集めて作った「グリーン」というグループについても少しお話させてください。グループ名は安易ですが私の名前「緑」をもじっています（笑）。そんな軽い気持ちで作ったグループですが、今は男性二名も加わり、少しずつ変わってきたように感じています。少人数の為、団体戦にはまだ参加することはできませんが、去年は女性のペアが試合で一勝を上げました。やっと勝ち取ったこの一勝が、私たちにとってはとても価値のある誇らしいもので、頑張って続けてきて良かったねと心から喜び合える瞬間でした。又、男性二人も種目別選手権に参加し、何よりも、自分たちらしく楽しくプレイすることができました。

これからも、きちんとテニスの基礎を繰り返し練習しながら、フォーメーションで試合運びを学び、練習を積み重ねてもっともっと上を目指していくつもりです。結成当初の「楽しくテニスをやる！」ということを大切に、大好きなテニスを少しでも長く続けていける様、チーム一丸となって取り組んで参ります。

少人数の弱小グループですが、今後とも宜しくお願い致します。

グリーンガーデン

安岡 美和

創立 50 周年おめでとうございます！

グリーンガーデンが連盟に加えていただいてから約 20 年と聞いております。ここ数年新しい仲間が増えて今や幅広い年齢のメンバーで構成されています。

なかなかみんな揃っての練習は難しく、団体練習日でしかご一緒できない方もいるので連盟から割り当てていただける団体練習日がとてもありがたく心から感謝しております。

テニスを通して人の輪が広がり、またフィジカル、メンタルが鍛えられ、同世代の人と比べても若々しく、生き生きと日々過ごせるのもこの素晴らしいスポーツのおかげです。

そして豊島区で楽しく活動できるのもテニス連盟の皆様の支え、家族の理解があつてこそです。

私たちは今後もグリーンガーデンの一員として連盟の活動に協力してまいります。

これまでの連盟の活動に敬意を表し、感謝するとともに今後の益々のご発展をお祈りいたします。



駒桜

早川 亜美

豊島区テニス連盟 50 周年おめでとうございます。

「駒桜」は連盟に登録させて頂いて 14 年目を迎えました。

普段は主に豊島区の校庭開放を利用して、駒込小学校に於いて週末と休日の朝とお昼に練習を続けています。「染井テニスクラブ」は 30 年以上の歴史があり、駒込・巣鴨地蔵通り周辺の住民を中心とした 44 名程度が在籍しています。

「駒桜」のメンバーは「染井テニスクラブ」の中でも、試合好きな男女 22 名で構成されています。

連盟に加入させて頂いたおかげで試合に出る機会も増え、他チームから学ぶ事が多く感謝しております。最近ではメンバーの中からお上手な方をコーチとして置き日々の練習とチームワークの強化、試合で生かせる様に実戦練習もしております。

掲載した写真は「駒桜」のネーミングの由来となった駒込小学校の駒桜（1952 年植樹）と染井テニスクラブの一部です。我々も駒桜の木の様に成長を続け、末永くテニスを楽しんでいきたいと思っております。また、他団体の皆様との交流や親睦を深めて行けるよう、技術向上に努めてまいります。



豊島区の個人公開日にお世話になっております指導員の皆様はこの場をお借りして御礼申し上げます。今後とも宜しくお願い致します。

最後になりましたが、「豊島区テニス連盟」の各々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



スマッシュ

八谷 美一

当テニスクラブの名前は『スマッシュ』と言います。名前の由来は定かではありませんが、設立した方たちはそういうテニスを目指したかったのかな、と思います。

メンバーは、豊島区役所の職員テニスクラブ会員及びそのOBで構成されています。とはいえ、ここ数年活動しているメンバーは14～5人前後で推移しており、小規模クラブです。毎年、新規会員の確保には苦勞していますので、興味のある方はお声かけ願います。

練習は会員の個人活動が主で、全体に声掛けして集まるのは総合体育場の練習日がほとんどです。練習内容は参加したメンバーに合わせ、初心者から上級(?)者まで楽しめるよう工夫し、最後に試合形式を行うという形をとっています。

テニス連盟主催の大会はクラブ全体で募集して希望者が参加しています。なかなか上位進出は厳しいのですが、「継続こそ力なり」をモットーに頑張っています。いずれ花咲く日も来るでしょう。

コロナ過で懇親会や合宿なども自粛していましたが、そろそろ復活しようと考えています。また、テニス連盟の運営にも可能な範囲で参加し、忘れられないように努力しますので、よろしく願いいたします。

大正セントラル目白

鈴木 孝平

大正セントラル目白は、「大正セントラルテニスクラブ目白」の各種会員（正会員・平日会員・ナイター会員・スクール生等）を構成員としており、現在は男子12名女子7名の合計19名が連盟登録しています（一時は50名近くの登録がありましたが）。連盟へは発足時から加入しており、会員数減少により一時脱退した時期もあったようですが、再加入し現在に至っています。

クラブは都心にありながら13面の砂入り人工芝テニスコートを所有していますが、約半分が会員コート、あと半分はスクール、法人会員、貸コートとなっています。

会員は、それぞれ会員区分に従い練習をしているので一堂に会しての練習をすることはなく、また自コートで練習できるので、連盟の割当コートの必要性もあまりありません。

以前は豊島区の団体戦・個人戦の各大会で優秀な成績を収めていましたが、最近はそのような気概も薄れてきたようで、団体戦への参加もままならぬ状況です。

以上の状況から豊島区の大会では成績は今一つですが、メンバーには個人でJOP大会、女子連の大会に参加する者も多く、男女とも全日本の上位にランキングされるメンバーもいます。

現在は、豊島区テニス連盟の大会に対するモチベーションが少し落ちてきていますが、多くの会員に加入して頂き、嘗ての活躍が出来れば良いと思います。

最後に テニス連盟も設立以来半世紀が過ぎましたが、100周年に向けてますます繁栄されることを祈念します。



早朝練習会

谷嶋 二三男

規約による早朝練習会の目的は、体力の維持向上と親睦が主であります。年齢層は（2022年）20歳代から80歳代と幅広く（60歳以上58名、70歳以上33名）、男性59%、女性41%で、テニス歴、技術、体力、そして個人の目的等が多様な方々の集まりであります。

会員数は例年70名以上になりますので、1面当たり約18名になっていますので、少々過密になっておりますが、豊島区在住在勤者は基本的に受け入れるようにしております。

練習日は、3月から11月の火・木・土曜日と奇数週の日曜日です。

12月から翌年2月迄の間は、別会費で希望者のみ土曜日と奇数週の日曜日のみ早朝練習を行っております。

早朝ですから、朝7時から9時迄で、各自の都合の良い時間に参加できますが、早退の場合は、8時30分迄に早退しなければなりません。また、個人公開の整理券を得る場合も8時30分迄に練習を止めなければなりません。

練習会のボールは1コート40個、合計160個を会で用意し、ほぼ毎月ダンロップフォートのニューボールと交換しています。

連盟に登録している他団体所属の方も早朝練習会に加入できます。年会費は2万円、入会金5000円は、20年以上変わっていないようです。

練習方法は各コートで相談しながら、移り変わってきています。

10年前まで4コートは、ストレートのラリーのあとサーブレシーブを行っていました（しかも安全を重視しジュースサイドとアドサイドを交互に行っていました）。参加人数の増加により、両サイド同時に行い、ボレストも加わりました。スマッシュも必要とされ練習に加えられ、さらに、ゲーム練習も行った方がよいことから、ゲーム形式（2本だけ）も加えられ、現在は多様な練習をこなしております。

ストロークやゲーム、サーブ練習を多く行い方は、他のコートに移動して行っております。時に応じて好きなコートに自由に移動して練習参加できることが特徴です。



早朝練習会沿革

《1949年（昭和24年4月）総合体育場テニスコート完成》

巢鴨監獄の跡地、戦時中の高射砲陣地を軟式庭球支部の方々が工費や人力を費やしテニスコート（クレークコート）を3面完成させました（翌年1面増設）。

そのため、1948年において、総合体育場のコートは全て軟式庭球が使用していました。しかし極一部ですが、軟式庭球プレーヤーの中に硬式テニスを愛好する方々がおりました。また一方、日本の経済状況が向上してきたことと相まって硬式テニスの普及の下地が芽生えて来ていました。

《1969年（昭和44年）早朝練習会の発足》

その状況下の中で、元々は軟式庭球出身の宮田勝正氏（三愛スポーツ店社長）、神崎勝重氏、そして菊池仙安氏（現連盟副会長の菊池恵子氏のご主人）らが中心となり、お茶の水女子大学・学習院大学・造幣局のコートを借りて練習をしていました。

しかし、やはり定期的に利用できるテニスコートの必要性を感じ、総合体育場コートの使用をお願いするため、区役所へ何度もお願いを繰り返し、どうにか軟式テニスが始まる前の朝6時から8時までの使用許可を獲得しました。まさに早朝練習会発足の原点でした。昭和44年、1969年、硬式庭球連盟創立の4年前のことです。

そのころは「三愛クラブ」、通称「朝連」と称していたようで、早朝練習会の前身にあたります。当初早朝練習は、毎日開催され12、13人位で、コートも1面から2面と人数に合わせて使用していたとのこと。月会費は5000円でその中から、センターベルトの購入もされていたようです。1974年（昭和49年）12月第2日曜日に全体試合を行い、後藤杯（テニス連盟3代目会長：現在連盟監事後藤氏の父親）を制作しました。それ以来現在まで年一度の年中行事となっています。

《その後の経過》

早朝時には利用していなかった軟式庭球連盟と調整し、早朝練習会は、現在の火・木・土・日曜日（奇数週）だけ利用するようになりました。近隣居住者への騒音問題配慮のため、2010年には、平日は6時30分～8時30分、日曜日や祝祭日は7時～9時となり、さらにその後、平日も現在の7時～9時と時間が変更されてきました。1982年の月会費は3000円（入会金5000円）、10分前に終了してコート整備を行っていました。早朝練習会は1983年に豊島区硬式庭球連盟早朝練習会、1998年には豊島区テニス連盟早朝練習会と正式名を変え現在に至っております。現在の年会費2万円（入会金5000円）は、20年以上変わっていないようです。

《早朝練習会歴代会長》

初代：宮田勝正 2代目：後藤辰夫 3代目：片山義治 4代目：関根陽太郎
5代目：芝垣武典 6代目：加藤寛 7代目：山本明 8代目：谷嶋二三男

最後に、ともすれば忘れがちになる、毎回の練習前、練習中の騒音、歓声、蛮声を抑制すること、また次の利用者のための速やかな退場等、関係者各位、関係諸団体への配慮ある言動を心掛けていきたいと思っております。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

チームスーさん

野田 英俊

「チームスーさん」何かおかしなチーム名だがこの名前、何処かで聞き覚えがある？

そうです！正しく「スーさん」とは、ビックコミックオリジナルに連載の漫画“釣りバカ日誌”に出てくる鈴木建設社長：鈴木一之助氏のニックネームで、これが我がチーム名になっているのです。これはチーム発足以来、代表を務めるテニスを何よりもこよなく愛する「スーさん」そっくりなオーナー社長の鈴木邦浩さんの愛称をメンバーの誰と言うこと無く言い始め、それがそのままチーム名に決まってしまったと言う訳です。

チームメンバーは元々、大正セントラル目白の繋がりです。テニスを通じて気の合った仲間が集まったものです。この10年で、還暦から古稀へと年齢を重ねた最年長の70歳（チーム代表）から40代までの総勢16名、主に総合運動場や目白台等を拠点として土日中心に練習を行っています。理想的には最低週に3回は…と思いますが、チームメンバーは仕事も様々で中々、全員揃って練習時間が確保出来ないのが悩みの種です。それでもチーム内実力NO.1の石井監督の下、レベルアップに努めています。最近ではチームの高齢化が進む一方、若手の入会が全く無く、体力低下をカバーしつつ、技術の底上げが大きな課題になっています。その他、ここ数年は新型コロナの影響でご無沙汰となっていますが、定期的に懇親会を行っており、女性陣（奥方）も加わってテニス以上に盛り上がっています。

豊島区の大会には団体、個人共出場させて頂いておりますが、レベルが高くて中々勝ち星が挙げられずにいるのが現状です。その中で昨秋(2023年)の男子シングルスAクラスで石井監督がベスト8に入ったのが久々の上位進出です。

当面の課題は上位入賞を目標としつつ、日々、怪我無く厳しい中にも優しさと楽しさのあるテニスを目指して行こうと思っておりますので、どうぞ宜しくお願い致します。



ひまわり

松本 優子

豊島区テニス連盟創立 50 周年おめでとうございます。

私達「ひまわり」は女性 25 名で構成された団体で、名前のおりひまわりのような明るさとパワーと輝きを兼ね備えた美女？軍団で、20 代からお孫さんのいるマダムまで幅広い年齢層で構成されています。

名前の由来は、ひまわりの花のようにすくすくと成長していくようにという願いが込められています。大会運営一つをとっても、皆が自分のことのように気を配り、何事も協力し助け合える仲間です。試合の勝敗も大事ですが、それ以上に仲間を思いやる気持ちがとても強い団体です。良い戦績を残せば皆で祝福し、惜敗すれば励まし合い、どんな時も笑顔で乗り切ることができるので、「ひまわり」という名前にぴったりの団体です！

主な活動としては、連盟の強化練習日の他に、毎月第 3 月曜日に総合体育場で定期的なダブルス練習を行っています。“コート確保リーダー”が年間計画を立て、皆で抽選を入れ、苦勞しながらコートを確保しています。毎月充実した練習を行うことができるので、ここ数年は安定した戦績を残しています！

豊島区テニス連盟の長い歴史の中で、私達が団体として活動を継続できたのも、これまで連盟を支えてくださった役員の皆様のご尽力の賜物と感謝しております。

豊島区テニス連盟の益々のご発展を祈念しますとともに、私達ひまわりも連盟団体の一員として、今後もサポートしていきたく思っております。



郵政クラブ

小林 薫

『豊島区テニス連盟創立50周年』おめでとうございます。

郵政クラブは、平成5年（1993年）豊島郵便局に勤務する有志8名で結成しました。半数は初心者で、経験者の先輩指導のもと豊島郵便局屋上のコートで練習してきました。

【活動状況】

日時 毎週日曜日 13:00～17:00

場所 杉並区 日本郵政レクリエーションセンター

部員数 28名（団体登録メンバー数と乖離します）

結成当初、部員は職員に限定していましたが、メンバーの世代交代が進むにつれて減少し、友人・知人に声かけしてきた結果、現在構成員の比率も変化してきました。

キャッチフレーズは「楽しく 一途に 前向きに!!」をモットーに、さくら吹雪の中でテニスを、夏には流しそうめん等のイベントを開催し、アットホームな雰囲気を楽しんでいます。

多くの試合・大会に参加して、技術の向上を図ろうとする若者たちと、余暇を利用してテニスを純粋に楽しみ、健康維持を目的とする熟年層の二極分化してきたのが、現状です。

最後に、豊島区テニス連盟及び各加盟クラブの益々のご発展を祈念いたします。



ルネサンス早稲田

松本 直樹

豊島区テニス連盟創立 50 周年おめでとうございます！

ルネサンス早稲田は、1991 年にオープンから地域の皆様に愛され今年で 33 年を迎える総合スポーツクラブです。

テニススクールのみでなく、フィットネスジム、スイミング、ゴルフ、空手などの各スクールもあり、子供から大人まで様々なスポーツを通して「地域を健康」にできるよう取り組んでいます。

過去に豊島区の大会では、男子 A チームが 3 月の団体戦（平成 25～28 年）4 連覇することが出来ました。

今年度は、団体登録者が 51 名（男女比率は半々）で大半がスクールに通われている方で占められています。普段のレッスンではインドアテニスコート 1 面しかなく、なかなかスクールで試合をする機会が少ないので、連盟主催の試合を目標に日々練習しています。

今後も豊島区体育協会と豊島区テニス連盟の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



天米

桑田 正太郎

豊島区テニス連盟創立 50 周年おめでとうございます！

約 30 年前にテニスコート開放で知り合ったお酒好きの仲間たちとの出会いから始まったチームです。テニス後に必ず欠かさず立ち寄った呑み屋さんの名前が「天米」（てんまい：文京区）でして、当時、そのお店で区民大会に出よう！と大いに盛り上がったときにチーム名を店主の了解を得て天米（酔っ払って読み方を間違い「てんこめ」笑笑）としました。

その後、テニスとお酒を通じ仲間が増え現在、約 60 名、男女半々の個性豊かな集まりに至りました。名は体を表すと言いますが、私(田辺)は天職と思ってコートを確保し、あした天気にな〜れと♪ チームメイトは、天才肌、能天気、破天荒、天真爛漫、楽道家等々楽しい仲間たちがお互い（または田辺）を支えながらチームの運営に協力頂いています。では「米」とは？もちろんお酒の原料です！

練習場所については主に豊島区や文京区のコートを使っておりナイター練習会、シングルス練習会、球出し練習会など趣向を凝らしております。

また、チーム内のイベントとして上級者がテニスコーチに徹するテーマ別レッスン会、ミックスダブルス大会、お食事会、合宿などを行いテニスの技量アップや親睦を深めることも積極的に行なってまいりました。



約 30 年もの間、このチームが存続できたことは奇跡的なことで、恐らく、会社や一般的な倶楽部チームとは一味も二味も違う、ゆる〜い関係、つまり規則・規定に縛られず、明確な役割分担などは後回しにし、約束や信頼関係から醸成される自発的な行動や感謝の気持ち（テニスコートをとってくれてありがとう！一緒にテニスをしてくれてありがとう！一緒に呑んでくれてありがとう！みんなにありがとう！いつもありがとう！）が、仲間たちの間でお互いを助け合える、認め合えるような関係にいつの間にかに変わっていったからだと思料いたします。

これからも長くテニスを楽しめるよう、美味しいお酒が飲めるよう健康管理に努め、豊島区テニス連盟下の方々を含め仲間を大切にいい時間を共有して行きたいと願っております。

なお私どもは登録者数が多いので各種試合への参加はもとより試合運営についても積極的に数多く協力して参りました。これもひとえに豊島区テニス連盟に所属される皆様方からの支えがあつてのことと存じます。あらためてこの場をお借りし深謝御礼いたします。

最後に、豊島区テニス連盟の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



レインボー

沼尾 香央理

豊島区テニス連盟 50 周年おめでとうございます。

私たちレインボーは、総勢 18 名女性だけのチームです。創設メンバーが皆さん卒業されており、結成して何年経っているのか不明ですが、30 年以上は活動が継続していると聞いています。個性豊かな、色んなカラーの素敵な方々が集まった、レインボーという名前がぴったりなチームです。

私たちは年に 5 回程、総合体育場でチーム練習会を設けています。個々の都合やお天気などで、なかなか全員が集まることができませんが、その時に集まったメンバーで近況報告をしたり、アドバイスし合ったり、お互いのナイスプレイに刺激されたりと、毎回盛り上がる楽しい練習会です。団体戦では、最近はなかなか決勝戦へと進むことができませんが、みんなで真剣且つ楽しくプレイして、応援して、年に 1 回メンバーが集まれる貴重な機会となっています。個人戦に出るメンバーは多く居ませんが、試合に勝つことを目標に努力している方、テニスが大好きで気の合う仲間とテニスが続けている方など様々で、テニスを通して有意義な時間を過ごさせています。またメンバーには、長年豊島区女子監督を務めている川上さんがいます。川上さんはいつも試合の前には「試合は発表会だから楽しんでやっておいで！」と声をかけて下さいます。試合が終われば「試合の悪かったところじゃなく、良かったところを言ってみて！」と声をかけて下さる温かい監督がいるチームです。

そして、何より連盟の方々には感謝しております。年間の行事企画、練習コートの割り振り、総合体育場や三芳グラウンドとのコートの調整など、長年ありがとうございます。試合があるお陰で目標ができ、励みになります。また試合を通して、他のチームの方々との出会いがあり、テニスの輪が大きくなり、人生の幅が広がります。この先もテニスを通して多くの事を学び精進したいと思っています。

今後も連盟及び各加盟団体の益々のご発展をお祈りいたします。



Tボーイズ

伊藤 和歌子

この度は豊島区テニス連盟の創立 50 周年を心よりお祝い申し上げます。

私たちTボーイズは6、7年前くらいに、テニス仲間数名が集まり結成されました。

あまり知られていませんが、チームカラーは黄色です。

サークル的な活動というよりは、どちらかという試合に出ることを目的とした団体です。

そのためTボーイズとしての定期的な練習会は行っておらず、普段はテニススクールであったり、壁打ちであったりとメンバー個人がそれぞれの環境で練習に励んでおります。そして、その日々の練習の成果を試すために、豊島区の各種大会へ参加させて頂いております。

また、普段顔を合わせる事が少ない分、大会がメンバー同士の貴重な交流の場にもなっております。

試合が終わった後は鶴瀬駅前の中華屋で定食+ラーメンセットを食べながら、近況を語り合うというのが恒例行事になっております。

大会については一部のメンバーを除き、現時点では結果を残せているとは言い難い状況ですが、まずは全員がBクラスの1回戦、2回戦を突破できるよう頑張っていきたいと思っておりますので、試合会場でお会いした際には引き続きご指導頂きますと幸いです。

最後になりましたが、豊島区テニス連盟のますますのご発展を祈念いたします。



ショートスリーパーズ

山口 風

テニス連盟創立 50 周年、おめでとうございます。

私たちショートスリーパーズは、2022 年にスタートしました。「寝る時間よりもテニスが好き」が由来のサークルです。

西武デパート屋上にあるフミヤスポーツで学生時代アルバイトをしていたメンバー数名が社会人になり、サークルを作りました。当初 10 名程度でしたが、テニス好きがテニス好きを集め、30 名を超える大所帯になりました。チームメンバーは 20 代～40 代がほとんどです。

実は、昨年 60～70 代のメンバーが加入しました(もちろん、全員気持ちは 20 代です！)。

テニスが大好きで、みんなで楽しむ気持ちをもった素晴らしいメンバーが集まっています。今後も「強く、楽しく」を目標に、真剣にテニスができるチームでいられるように頑張ります。今後とも沢山お世話になるとは思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。



BTC

近藤 かな

豊島区テニス連盟、創立 50 周年おめでとうございます。

長年にわたる連盟の活動に感謝申し上げます。BTC は 2022 年に 40～50 代の女性 6 名で連盟に加えていただき、現在 7 名の団体です。豊島区と文京区在住のママ友、テニス仲間やスクール仲間等で、試合に出る機会を増やし向上したいという思いから結成しました。

チーム名の由来は文京区の B、豊島区の T、テニスクラブの TC の頭文字をとって、世界的人気グループの BTS に寄せて命名しました（笑）。「ビューティテニスクラブ」への変換も大歓迎です！

普段はそれぞれスクールに通い、近隣コートで練習していますが、年に数回の総合体育場での団体練習日はチームとして集まれる貴重な機会なので大変有難いです。

また、多くの方々と対戦できる区の大会は大きな刺激となっています。試合経験を通じて新たな課題を見つけ、次なる目標に向かって行きたいと思います。加入間もないチームですが、恵まれた環境の中テニスができることに感謝し、連盟の一員としてお役に立てるよう頑張りますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

最後に連盟の益々のご発展をお祈り申し上げます。



アベンジャーズ

安部 尚也

豊島区テニス連盟創立 50 周年おめでとうございます。

私たちアベンジャーズは、結成 2 年目のチームで、20 代～40 代のテニスと試合が好きなメンバー約 30 名で構成されています。

普段は各々で練習しており、一緒に練習することはあまり多くはありませんが、試合前になるとペア練等で集まって一緒に練習しております。

日頃からテニス漬けのメンバーが多いため、豊島区テニス連盟主催の大会にも積極的に参加させていただいております。

結成 2 年で、クラブ対抗戦男子/女子 B クラスやミックス団体戦 B クラスに優勝することができました。今後は、A クラスにも積極的に挑戦し、結果が残せるよう、日々練習に励んでいきます。



ブレイクボックス

山元 宏樹

我々ブレイクボックスは2023年1月に豊島区テニス連盟に団体登録をさせていただいた結成2年目のテニスサークルとなります。

以前使用していたテニスコートが施設閉鎖となってしまったのをきっかけに当時の団体メンバー有志7名で新たなサークルを結成、その後テニ友の輪が広がり現在は20名ほどのメンバー数となりました。

チーム名の由来ともなった施設閉鎖により【Break】しかけたメンバーと再び力を合わせて【Backs】出来た事に感謝し、それに甘んじず、次なる目標の『連盟豊島が丘』の頂に我が団体の旗を突き刺しに行きたいと思っていますが、その前に団旗を作るところから始めないといけませんね（笑）。

練習会は不定期ではありますが、区営コートや私設レンタルコートなどを利用して月1ペースで開催し、全体準備体操から入り、ストップウォッチを使用しながらその日のテーマを決めて各ショット練習やゲームをして楽しく練習をしています。

コートで我々を見かけましたらお気軽にお声掛けいただければ幸いです。

さて、この度豊島区テニス連盟は50周年を迎えられたとの事で誠にありがとうございます！

その様な歴史ある連盟の節目の年に団体登録をさせて頂いています事にとっても光栄に思いますと同時に、新たな歴史を他団体の皆様とも協力しながら刻んでいける喜びを強く感じています。

谷嶋会長や鈴木理事長をはじめ連盟の各理事の皆様には日ごろから大変お世話になっており、この場をお借りして改めて感謝申し上げます。

2年目の新米団体につき役員の皆様や諸先輩の方々からアドバイスをいただきながら連盟運営にもチーム一丸となって積極的に取り組んで参りたいと思いますので引き続きご指導のほど宜しくお願いいたします。

末筆ではございますが豊島区テニス連盟の今後益々のご発展を祈念しております。



WATTA

大野 里佳

50周年おめでとうございます。

私たち WATTA は、結成 2 年目のまだまだ新参チームで、元々は代表の渡邊とそのテニス仲間が集まってスタートしましたが、今年から大正セントラルの法人会員含めた多数が加入し、現在は男性 14 名・女性 5 名の 20 代の若手からベテランまで幅広い年代で構成されています。

中には豊島区の代表として、23 区チャンピオンシップに出場したメンバーや、そのチャンピオンシップで準優勝したメンバーも在籍しています。

チームで揃って練習することはなかなか難しいのですが、少人数で集まって練習しています。

楽しく真剣に、そして試合で勝つことも大切に日々切磋琢磨しています。

先日の男子団体戦では、初参戦ながら見事優勝を飾りました！！

今後も豊島区の試合に出ることでテニス連盟が盛り上がることに貢献していきたいと思っています！！よろしくお祈りします！



豊島区テニス連盟 沿革

- 1973年（昭和48年）豊島区硬式庭球連盟創立（6団体、個人2名）
1974年 豊島区選手権大会（ダブルス）が始まる。
1975年 クラブ対抗大会（団体戦）が始まる。
1977年 豊島区体育協会に加盟
千登世橋体育場にテニスコート2面新設
1978年 第1回春・秋季区民大会開催
坂井利郎（全日本選手権優勝者）と西尾茂之（デ杯選手）の模範試合
1980年 レディーススポーツレクリエーション（家庭婦人）大会始まる。
1983年 秩父市・豊島区姉妹都市スポーツ親善交流始まる（少年野球・バレーボール）。
1984年 西巢鴨体育場開設 テニスコート2面
1985年 早朝練習会と秩父市テニス連盟の交流が始まる（テニスの交流戦第1回）。
1986年 個人公開開始（総合体育場主催）連盟から指導者派遣。
- 1989年 秩父市・豊島区姉妹都市スポーツ親善交流事業、親善テニス大会始まる。
1990年 豊島区営三芳グラウンド開設 テニスコート4面（1994年：オムニコート6面）
1995年 都民体育大会にて豊島区女子チーム優勝。
- 1998年 豊島区テニス連盟に名称変更
2006年 総合体育場テニスコートをオムニコートに改修。
総合体育場の民営化（指定管理者制度）始まる。
2021年 新型コロナウイルス禍により、3月から6月の大会が中止となる。
2023年 総合体育場の再整備計画始まる。

初代会長：長谷川悟（造幣局）	1973年
2代会長：浅見真一郎（オリジン）	1976年
3代会長：後藤辰男（早朝練習会）	1983年
4代会長：平井和子（みたけ）	1993年
5代会長：宮久保渡（早朝練習会）	2013年
6代会長：谷嶋二三男（早朝練習会）	2022年—

参考資料

- 1) 三十年のあゆみ. 豊島区体育協会. 1979年
- 2) 40周年記念誌. 豊島区体育協会. 1988年
- 3) 50周年記念誌. 豊島区体育協会. 1997年
- 4) 豊島区レディース・スポ・レク大会の20年. 豊島区体育協会. 1999年
- 5) 創立30周年記念誌. 豊島区テニス連盟. 2003年
- 6) スポーツ交流20年のあゆみ. 秩父市・豊島区体育協会. 2003年
- 7) 60周年記念誌. 豊島区体育協会. 2008年
- 8) 豊島区体育協会加盟40周年記念誌. 豊島区テニス連盟. 2015年
- 9) 豊島区体育協会70周年記念誌. 豊島区体育協会. 2018年
- 10) 豊島区レディース・スポ・レク大会の40年. 豊島区体育協会. 2020年
- 11) スポーツ親善交流40周年記念. 秩父市・豊島区体育協会. 2023年

豊島区テニス区民大会シングルス優勝者

西暦(年)	和歴(年)	大会数	男子の部	女子の部
1977	昭和52	第1回	浦 吉徳	坂本 奈美枝
1978	昭和53	第2回(春)	増田 博	坂本 奈美枝
		第2回(秋)	増田 博	宇治 幸子
1979	昭和54	第3回(春)	太田 東徳	武田 百合子
		第3回(秋)	柴田 和三郎	村岸 テル子
1980	昭和55	第4回(春) 日没：2名優勝	佐藤 文雄	宇治 幸子
			清野 正樹	
1981	昭和56	第4回(秋)	山口 輝久	新井 よう子
		第5回(春)	太田 東徳	水出 恭子
1982	昭和57	第5回(秋)	太田 東徳	飯田 公子
		第6回(春)	太田 東徳	宮本 直子
1983	昭和58	第6回(秋)	雨天中止	雨天中止
		第7回(春)	町田 正	宮本 直子
1984	昭和59	第7回(秋)	町田 正	宮本 直子
		第8回(春)	中島 甲子郎	宮本 直子
1985	昭和60	第8回(秋)	小松 孝至	宮本 直子
		第9回(春)	太田 東徳	伊藤 弘子
1986	昭和61	第9回(秋)	樋口 秀彦	高辻 はるみ
		第10回	桑野 元	宮本 直子
1987	昭和62	第11回	小松 孝至	岸本 静枝
1988	昭和63	第12回	不明	岸本 静枝
1989	平成 1	第13回	不明	岸本 静枝
1990	平成 2	第14回	鈴木 孝芳	岸本 静枝
1991	平成 3	第15回	田子 康夫	中山 明代
1992	平成 4	第16回	土谷 美千雄	小林 美奈子
1993	平成 5	第17回	中島 甲子郎	中山 明代
1994	平成 6	第18回	要 真隆	工藤 尚子
1995	平成 7	第19回	木下 雅之	佐野峰よしみ
1996	平成 8	第20回	鈴木 和夫	佐野峰よしみ
1997	平成 9	第21回	高田 彰一	加藤 尚子
1998	平成10	第22回	北野 雄一	佐野峰よしみ
1999	平成11	第23回	斎藤 功之	佐藤 英里
2000	平成12	第24回	田中 達也	佐藤 英里
2001	平成13	第25回	小澤 直人	道本 尚子
2002	平成14	第26回	差生 和哉	道本 尚子
2003	平成15	第27回	田中 達也	道本 尚子
2004	平成16	第28回	小澤 直人	道本 尚子
2005	平成17	第29回	小澤 直人	道本 尚子
2006	平成18	第30回	小澤 直人	道本 尚子
2007	平成19	第31回	小澤 直人	松本 美徳
2008	平成20	第32回	大塚 智春	道本 尚子
2009	平成21	第33回	小澤 直人	道本 尚子
2010	平成22	第34回	田中 翔	松本 優子
2011	平成23	第35回	吉川 達郎	松本 優子
2012	平成24	第36回	吉川 達郎	松本 優子
2013	平成25	第37回	小澤 直人	松本 優子
2014	平成26	第38回	辻本 真大	松本 優子
2015	平成27	第39回	山上 脩平	松本 優子
2016	平成28	第40回	辻本 真大	森川 尚子
2017	平成29	第41回	鎌形 智也	森川 尚子
2018	平成30	第42回	小澤 直人	森川 尚子
2019	令和 1	第43回	飯島 健太	入船 由佳
2020	令和 2	第44回	飯島 健太	松本 優子
2021	令和 3	第45回	菅野 貴仁	藤井 里奈
2022	令和 4	第46回	菅野 貴仁	鈴木 南帆
2023	令和 5	第47回	菅野 貴仁	鈴木 南帆

体育協会生涯スポーツ功労者表彰

西暦	氏名 (所属)
2023年	鈴木孝平 (大正) 松本優子 (ひまわり)
2022年	該当者無し
2021年	該当者無し
2020年	該当者無し
2019年	資料記載なし 体協表彰19名の記載のみあり
2018年	該当者無し
	体協70周年記念体育功労者 鈴木孝平 (大正)、石はま子 (早朝)
2017年	中山恵美 (グリーンガーデン)、川上良絵 (レインボー)
2016年	該当者無し
2015年	小林ルミ子 (ひまわり)
2014年	芝垣武典 (早朝)、中山明代 (大正)
2013年	菊池恵子 (早朝)、小林薫 (郵政)、田中達也 (TOPSPIN)
2013年	生涯スポーツ優良団体 表彰(東京都知事)
2012年	該当者無し
	2011年迄『体育功労賞』 2012年から『生涯スポーツ功労賞』
2011年	江連久江 (レインボー)
2010年	勝呂悦子 (レインボー)
2009年	成田信之 (個人)
2008年	小栗章弘 (日立プラント)
2007年	関根陽太朗 (早朝)
	体協60周年記念体育功労者 平井和子 (みたけ)、北村裕行 (造幣局)、 小栗章弘 (日立プラント)、柴田祐子 (みたけ)
2006年	榎本悟 (郵政)
2005年	塩寺勝夫 (オリジンローンテニス)
2004年	清水信一 (オリジンローンテニス)
2003年	花岡義夫 ()、早川義広 (オリジンローンテニス)
2002年	西尾寿美子 (みたけ)
2001年	田子康夫 (早朝)
2000年	吉岡幹夫 (早朝)
1999年	大野義和 (チームワン)
1998年	末永亘 (早朝)
	体協50周年記念体育功労者 平井和子 (みたけ)、安藤彪 (写研)、 土屋武郎 ()
1991年～1997年	該当者無し
1990年	吉岡幹夫 (早朝)
1989年	該当者無し
1988年	該当者無し
1987年	該当者無し
	体協40周年記念体育功労者 後藤辰男 (早朝)
1979年～1986年	該当者無し

豊島区テニス連盟の大会参加者数(団体戦はチーム数)の推移

開催年		2000年代	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
クラブ 対抗戦	男子	A	6	5	10	8	7	12	8	5	中止	7	8	5
		B	6	6	6	6	9	7	6	7		7	7	9
		小計	12	11	16	14	16	19	14	12	-	14	15	14
	女子	A	12	10	14	13	15	14	7	11	中止	4	10	8
		B	-	-	-	-	-	-	11	6		4	4	9
		小計	12	10	14	13	15	14	18	17	-	8	14	17
春季 区民大会	男子	A	24	16	10	18	19	28	23	21	中止	22	23	25
		B	14	13	10	17	14	20	10	21		26	22	17
		シニア	9	-	4	6	4	6	5	6		8	7	7
		小計	47	29	24	41	37	54	38	48	-	56	52	49
	女子	A	20	17	15	15	16	16	25	21	中止	29	15	16
		小計	14	14	14	20	15	20	15	23		25	14	18
初中級	男子		9	11	8	10	12	20	19	14	中止	19	24	16
	女子			13	17	14	19	17	20	25		19	28	21
	小計		9	24	25	24	31	37	39	39	-	38	52	37
レディース スポレク	女子		9	27	21	27	27	24	39	29	中止	48	40	36
	小計		9	27	21	27	27	24	39	29	中止	48	40	36
ミックス 団体戦	A		-	-	-	6	4	3	7	4	中止	5	2	3
	B					6	10	7	9			9	9	9
	シニア		-	-	-	-	-	-	3	-		-	-	-
	小計					6	10	13	17	13	-	14	11	12

秋季 区民大会	男子	SA	42	35	29	29	25	31	32	37	40	49	38	45
		SB	27	30	21	26	31	43	38	44	47	52	54	58
		小計	69	65	50	55	56	74	70	81	87	101	92	103
	女子	SA	19	12	14	17	11	14	18	15	16	11	15	11
		SB	-	13	18	16	17	17	20	17	14	18	23	23
		小計	19	25	32	33	28	31	38	32	30	29	38	34
	男子	A	22	19	22	19	21	26	20	21	20	24	24	14
		B	14	15	16	17	10	21	21	19	26	24	28	30
		シニア	6	9	-	4	5	-	4	8	8	6	9	8
		小計	42	43	38	40	36	47	45	48	54	54	61	52
	女子	A	21	27	21	18	27	20	26	26	36	42	38	36
		B	9	12	14	24	22	19	16	18	21	24	30	34
小計		30	39	35	42	49	39	42	44	57	66	68	70	
ミックス ダブルス	A	18	-	16	14	18	15	22	19	18	16	15	15	
	B	13	-	24	20	16	31	33	27	36	22	32	35	
	シニア	7	-	4	11	15	11	13	11	8	8	7	4	
	小計	38		44	45	49	57	68	57	62	46	54	54	
種目別選手権 ミックスダブルス		-	-	42	40	43	34	35	43	41	42	32	32	
	小計	-	-	42	40	43	34	35	43	41	42	32	32	

参加者数	年間合計	321	304	370	415	428	479	503	507	331	570	558	544
	春大会合計	123	132	129	160	167	197	205	202	0	232	213	199
	秋大会合計	198	172	241	255	261	282	298	305	331	338	345	345

開催年	2000年代	12年	13年	14年	15年	16年	17年	18年	19年	20年	21年	22年	23年
-----	--------	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----	-----

注：2022年以降春季大会女子は三芳開催

豊島区テニス連盟会則

第 1 章 総 則

第 1 条 名称・所在（事務所）

本連盟は、豊島区テニス連盟と称し、所在は会長宅とする。

第 2 条 目的

本連盟は、豊島区内におけるテニスの普及・発展を図り、併せて体位向上、スポーツ精神及び活動の発展に資することを目的とする。

第 3 条 事業・活動

本連盟は、前条の目的を達成するために、次の事業・活動を行う。

豊島区のテニス人口拡大と組織化のために必要な事業・活動。

2) 豊島区のテニス技術向上のために必要な事業・活動。

3) その他、目的を達成するために必要な事業・活動。

第 4 条 上部団体

本連盟は、豊島区のテニス統括団体として豊島区体育協会ならびに関連テニス団体に加盟する。

第 2 章 組 織

第 5 条 会員

本連盟は、団体に所属する会員及び特別会員をもって組織する。

2) 団体に属する会員は、豊島区在住・在勤者の半数及び他区・市在住者で組織されたテニス団体であって、学生で組織された団体に加盟していない者であって、常任理事会の承認を得たものとする。

3) 特別会員は、本連盟の趣旨に賛同する者で常任理事会の承認を得た者とする。

第 6 条 加入・脱退

本連盟に加入・脱会を希望する者は、所定の書式により届け出ることとし、常任理事会の承認を得なければならない。

第 7 条 権利

会員は、本連盟及び豊島区体育協会の行う全てのテニス関係事業活動に参加することができる。

第 8 条 義務

会員は次の義務を負う。

加入を承認された会員は、所定の加盟費を納入する。

2) 会員は、所定の会費を入会申込期限までに納入する

3) 会員は、参加費が必要な事業・活動に参加するときは、所定の参加費を納入する。

4) 代表者、住所、電話番号、その他届け出事項に変更があったときは、書面により速やかに届け出る。

第 9 条 資格停止・除名

会員が理由なく前条の義務を怠ったときは、その職務を果たすまで、会員資格を停止する。

2) 会員が、本連盟の名誉・体面を傷つけた行為を行ったときは、理事会の決議

により除名することができる。

第 10 条 役員

本連盟は、次の役員をおく。

- 会長 1 名
- 副会長 若干名
- 理事長 1 名 会長または副会長を兼務できる
- 副理事長 若干名
- 常任理事 数名
- 理事 加盟団体の責任者及び代理者 会計監査 2 名

2) 名誉会長・顧問をおくことができる。

第 11 条 役員を選任 役員は次の方法で選任する。

会長は、理事・特別会員の中から理事会が推挙し、総会において選任する。

- 2) 副会長は、会長が推挙し、理事会において選任する。
- 3) 理事長は、理事・特別会員の中から理事会が推挙し、総会において選任する。
- 4) 副理事長は、理事長が推挙し、理事会において選任する。
- 5) 常任理事は、理事・特別会員の中から理事会が推挙し、総会において選任する。
- 6) 会計監査は、会員の中から会長が推挙し、総会において選任する。
- 7) 名誉会長は、会長経験者の中から、顧問は第 10 条第 1 項の役員経験者の中から常任理事会で選任する。

第 12 条 執行期間及び役員任期

執行期間及び役員任期は、1 月 1 日より 12 月 31 日までとし、再選を妨げない。

- 2) 役員に欠員が出来たときは、常任理事会において補充することができる。

第 13 条 役員職務

役員は次の職務を行う。

会長は、本連盟を代表し、総理する。

- 2) 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 3) 理事長は、理事会を代表し、その運営を行う。
- 4) 副理事長は、理事長を補佐し、理事長に事故あるときは、その職務を代行する。
- 5) 常任理事は、常任理事会を組織し、事業・活動に必要な職務を担当する。
- 6) 会長・副会長・理事長・副理事長・会計・事務局は常任理事を兼務する。
- 7) 会計監査は会計を監査し、その結果を総会に報告する。
- 8) 名誉会長・顧問は、常任理事からの相談を受け、また総会・常任理事会に参加することができる。

第 3 章 会議

第 14 条 会議

会議は、総会・理事会及び常任理事会とし、各会議の議長が召集する。

- 2) 総会の議決は、出席した議決権の過半数をもって行う。常任理事・理事会は出席した者の過半数をもって行う。

3) 総会の議決権は、会員20名までの団体は3票、それ以降10名増えるごとに1票加えるものとする。特別会員は、1票とする。

第15条 総会

総会は、定時総会と臨時総会とし、議長は会長があたる。

2) 定時総会は、毎年1回開催し、臨時総会は必要に応じて理事会の決議により招集する。

3) 総会は、事業・活動報告、収支報告、役員選出、事業・活動方針、その他重要事項を決議する。

4) 緊急動議は、総会前日までに議長に書面をもって行い、議長はその賛否を決める。議長は、採用しない動議があるときは、総会においてその理由を明らかにする。

第16条 理事会・常任理事会

理事会・常任理事会は、理事長が議長にあたり、総会議決事項の報告に必要な事項を決議し、その実施にあたる。

第4章 会計

第17条 経費の支弁

本連盟の経費は、加盟費、会費、参加費、交付金、寄付金、その他の収入によって支弁する。

第18条 加盟費・会費・参加費

加盟費・会費の金額は、常任理事会で決定する。

2) 参加費は常任理事会で決定する。

第19条 会計年度

本連盟の会計は、毎年1月1日に始まり、12月31日に終わる。

第5章 付則

第20条 会則の変更

本会則は、総会の議決により変更することが出来る。

第21条 運営細則

本会則に定めがない事項で、本連盟の運営に必要なときは、運営細則を常任理事会で定めることが出来る。

2) 細則を定めた時は、それを速やかに会員に通知する。

第22条 本会則は、昭和48年12月10日より施行する。

【改正時期】

平成10年4月1日改正

第1条：名称の変更

平成15年4月1日改正

第3条：事業・活動 第4条：上部団体 第5条：会員

第8条：義務 第11条：役員を選任 第14条：会議

第15条：総会

追加

第15条：総会
追加
第7条：権利 第12条：役員任期 第13条：役員職務
第17条：経費の支弁 第18条：会費等 第19条：会計年度
平成21年3月23日改正
第10条、第11条、第14条、第16条：
理事、加盟団体の責任者、常任理事、特別会員を追加
平成23年3月2日改正
第1条：所在の変更 第10条：役員追加
第12条：執行年度及び役員任期変更
平成24年3月2日改正
第5条：文書整理
第5条、第5条。第6条、第18条、第21条：
理事会より常任理事会へ変更
第10条：会計監査を2名へ 第12条：執行期間及び役員任期の変更
第14条：会議の議決、総会の議決権数
平成29年3月9日改正
第5条2)：なお書き追加 第6条：文書整理
第8条2)：会費納入期限を変更
平成30年3月1日改正
第10条、第11条、第13条：名誉会長・顧問の設置・選任・職務を追加
第18条1) 加盟費・会費の決定方法を変更

【2023年度役員】

会長：谷嶋二三男（早朝練習会） 副会長：菊地恵子（早朝練習会）
理事長：鈴木孝平（大正セントラル目白）
会計：川端佳子（早朝練習会） 小村緑（グリーン） 小野均（早朝練習会）
事務局：桑田正太郎（天米） 志賀康子（駒桜） 篠原美幸（天米）
鈴木孝平（大正セントラル目白）
トーナメント委員長：野田英俊（チームスーサン）
副委員長：中山恵美（グリーンガーデン）
レディース：松本優子（ひまわり）
委員：中尾潤一、本橋行雄、八谷美一、加藤祐子、遠藤尚志、
近藤かん奈、大野里佳、南川和恵、山口凧、熊本薫
小林薫、沼尾香央理、春田晃宏
指導強化部：山本明（早朝練習会）
東京都・23区テニス協会担当：田辺弘之（天米）
監督：黒澤博之（男子：郵政クラブ）、川上良絵（女子：レインボー）
監査：後藤真琴（早朝練習会）、松本直樹（ルネサンス早稲田）
顧問：江連久江、小林ルミ子、石はま子

編集後記

豊島区テニス連盟 50 周年記念誌を皆様にお届けできることを光栄に思います。体協加盟 40 周年記念誌発行から 8 年でしたが、創立 50 周年記念誌を、急遽発行することとしたため、準備不足は否めませんでした。そのため、急な依頼にもかかわらず、記念誌の作成に当たっては、多くの方々にご協力、執筆頂き、ありがとうございました。

ここ数年はコロナ感染拡大のため、全てが一変し、「新しい生活様式」に適応した大会運営の実践が必要とされました。豊島区テニス連盟においては沢山話し合い、テニス愛好家の私たちみんなが笑顔で居られる為に、出来ることを！の一心で運営して頂いたことと思います。

また、「十年一昔」という言葉があるように、この 10 年間に起こった事を思い返すと、移り変わりの早さにただただ驚くばかりでもありました。

コロナ禍で行動制限された中、豊島区テニス連盟においては、連盟役員と選手一同が規律を守りながら大会を開催したことは、今振り返っても大変勇気ある行動であったと思います。

世の中が移り変わっても、豊島区テニス連盟がブレることなく、テニスを愛する者同士の憩いの場として、これからの 10 年も発展し、より良い記念誌も発行されることと思います。

これからも皆様のご協力とご支援のもと、豊島区テニス連盟の益々の発展と繁栄を願いたします。

『豊島区テニス連盟創立 50 周年記念誌』

発行日：2024 年 3 月 31 日

発行者：豊島区テニス連盟

編集：記念誌編集委員会

谷嶋 二三男（早朝練習会）

松本 優子（ひまわり）

沼尾 香央理（レインボー）